

令和2年11月13日
第2回総合教育会議
教育部学務課

児童・生徒1人1台 タブレットPC等の整備状況について

教育部 学務課

概要

➤ 目的

- ・児童・生徒一人ひとりがタブレットPCを活用し、授業及び家庭学習において個に応じた学びや創造性を育む学びを充実する。
- ・臨時休業時の子どもたちにつながることで学習保障等に活用する。

➤ スケジュール

・配布時期

小学校4年生から中学校3年生： 令和2年11月以降順次

小学校1年生から小学校3年生： 令和3年3月以降

➤ タブレットPCの家庭での活用

小学校3年生から中学校3年生までは自宅に持ち帰り、自らの学習の進捗に合わせ、家庭学習において主体的に補充・発展学習に取り組むことができる。

導入するタブレットPCの特徴

【導入製品】

Lenovo 300e Chromebook 2nd Gen



【特徴】

◆起動が早い

一般的なWindowsPCに比べ、chromebook は起動が早い。おおよそ10秒前後で起動される為、授業の進行を妨げることがない。

◆バッテリーが長持ち

Chrome OS はブラウザで動く省エネOSとなっており、パソコンへの負荷も軽減されることからバッテリーが長持ちする。

◆高い耐久性

落下等による破損を考慮したコンバーチブル方式MIL規格に対応した耐久性に優れた製品。

※コンバーチブル方式 ノートPCとタブレット型端末両方の使い方に対応する機能を有するもの

※MIL規格 アメリカ国防総省が制定するアメリカ軍が必要とする物資の調達に使われる規格

導入効果

- ◆ 児童・生徒一人ひとりの学習の進捗に合わせ、自ら主体的に補充・発展学習に取り組むことができる。
- ◆ 臨時休業時において、映像コンテンツや担任による動画配信の工夫等、より充実した学習指導や生活指導が行える。また教員が児童・生徒の様子を映像により健康面等の確認ができる。
- ◆ 不登校傾向の児童・生徒に対して、学校以外での学習の機会が提供できる。
- ◆ 夏季休業等の長期休業中の児童・生徒の生活指導・学習相談等にきめ細かく対応できるようになり、長期休業明けに増える不登校対策に効果が高いと考えられる。
- ◆ パソコンを家庭で管理することにより、保護者が子どもの学習状況を把握ことができ子どもの教育に関わる機会が増える。